

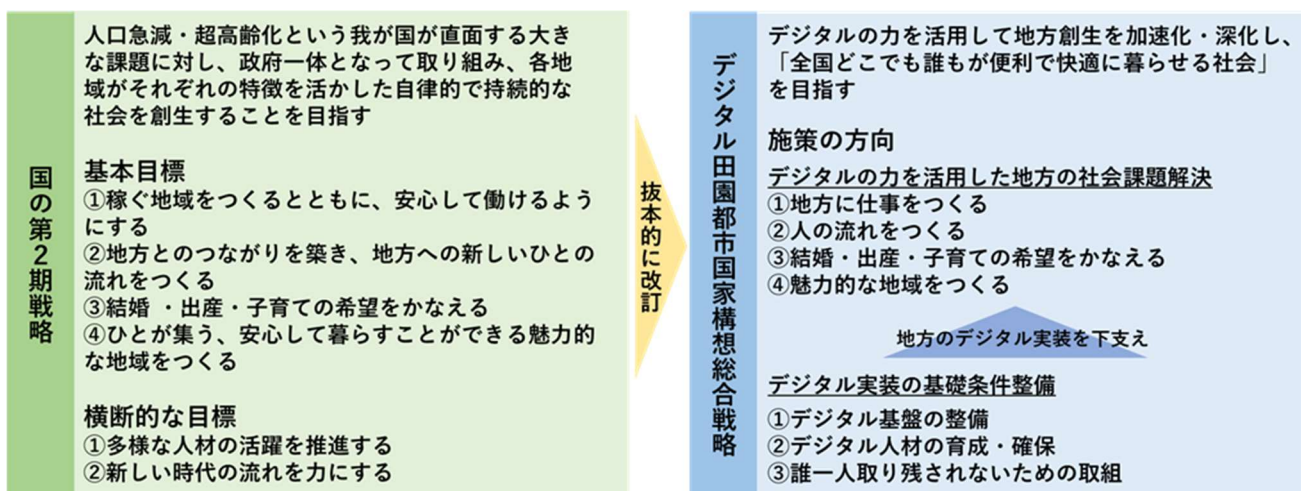
# 追加掲載 デジタル田園都市国家構想の実現に向けて

## 第1節 国における総合戦略の動向

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりテレワークの普及や地方移住へ関心の高まりなど、社会情勢がこれまでと大きく変化している中、国においては、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すデジタル田園都市国家構想の実現に向け、国の第2期戦略を抜本的に改訂し、令和5年度を初年度とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（以下「国のデジ田戦略」）を新たに策定しました。

国のデジ田戦略では、これまでの国の第2期戦略における基本目標を引き継ぐかたちで、「地方に仕事をつくる」、「人の流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「魅力的な地域をつくる」を位置づけており、同時に地方のデジタル実装の下支えとして、「デジタル基盤の整備」、「デジタル人材の育成・確保」、「誰一人取り残されないための取組」を強力に推進することとされています。

図表 27 デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要



## 第2節 本市第2期戦略における対応

### 2-1. 追加掲載の方向性

国のデジ田戦略の策定を受け、本市においても、これまで進めてきた地域の社会課題解決や、魅力向上に向けた地方創生の取組について、デジタルの力を活用して継承・発展させていくため、関連する施策をとりまとめ、本市第2期戦略に追加掲載するものとします。また、令和5（2023）年3月に策定した「富田林市DX戦略」と整合性を図ることで、デジタルを活用した地域の社会課題解決を目指します。

なお、本市第2期戦略は地方創生を推進する施策にDXの視点を取り入れる等、すでに国のデジ田戦略を包含した内容であると定義し、本追加掲載では、地方創生に向けて現在取り組んでいる、又は今後取り組んでいくべき、デジタルを活用した施策をそれぞれの基本目標に位置づけていくこととします。

### 2-2. 地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)について

国のデジ田戦略では、各自治体における総合戦略において、それぞれの地域が抱える社会課題などを踏まえ、地域の個性や魅力を活かす「地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）」を掲げることとされています。

本市では、市総合ビジョンで、10年先を見据えた長期的な視点により実現を目指すまちの姿として、「ひとがきらめく！自然がきらめく！歴史がきらめく！ みんなでつくる 笑顔あふれるまち 富田林」を将来像として掲げています。そのため、市総合ビジョンに掲げる将来像を目指すべき理想像＝地域ビジョンとして掲げ、これまでの総合戦略で根付いた地方創生の意義や取組を継続するとともに、新たに令和5年度から取り組んでいる、富田林版「こどもまんなか社会」の実現に向けた視点も踏まえ、デジタルの力を活用してさらなる人口減少対策と地域活性化を図っていきます。

### 2-3. 施策間連携・地域間連携の視点について

人口減少・少子高齢化の中、また、限られた財源の中で最大限の効果を求めていくためには、複数の施策を相互に関連付けて実施することが重要です。また、解決すべき社会課題が共通する他の地方公共団体も存在することから、施策や地域を越え、効果的かつ効率的な取組を行う視点を持つとともに、デジタル田園都市国家構想交付金等、国・府からの財源支援や情報提供を積極的に活用し、他自治体の優良事例を参考にしながら、新たな施策に取り組みます。

### 2-4. 計画期間

本市第2期戦略の計画期間は、令和3（2021）年度から令和8（2026）年度までの6年間としています。国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」策定を受け、本市第2期戦略を「富田林

市デジタル田園都市国家構想総合戦略」として改訂するとともに、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3年間を計画期間として位置付けます。

### 第3節 デジタルを活用した取組について

#### ■若い世代の子育て・定住の場としてのまちづくり

##### 基本目標Ⅰ：新しいひとの流れをつくる

デジタルを活用した取組例	
市ウェブサイト・各種ポータルサイトやSNS等を活用した情報発信	対象者に応じた情報発信ツールを活用し、本市の知名度や好感度、市民満足度の向上につながる情報を効果的に発信します。 令和5（2023）年12月には、市LINE公式アカウントをリニューアルしており、利用者が必要な情報カテゴリのみ選んで受信できるようになるなど、より細やかな情報発信のかたちを目指します。

##### 基本目標Ⅱ：若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

デジタルを活用した取組例	
子育て支援アプリの導入	子育て支援アプリの導入により、子育て世帯にとっては、子育てに関する情報収集やこどもの成長の記録、予防接種の管理が簡単・便利になるとともに、プッシュ型の通知が可能となるため、直接利用者には、タイムリーな市からのお知らせをお届けします。
ICTを活用した教育の推進	こどもたちにとって、「いつでも」「どこでも」「自分らしく」「誰とでも」学べる環境の実現に向け、1人1台端末やAIドリルを用いたこどもたちの個別最適な学びを進めていきます。 デジタル採点システムや統合型校務支援システムを活用した教育関係業務の効率化や、教育データの利活用による教職員の働き方改革を進めていきます。さらに、保護者と学校との連絡ツールを活用するなどし、欠席連絡をはじめとした保護者の利便性向上を進めます。
保育園のICT化	公立保育園に登降園管理システムを構築し、欠席や遅刻の連絡、園からのお知らせ配信、連絡帳機能等の他、園児の登園及び降園の管理・記録をしています。また、民間保育園についても、同システムの導入支援を引き続き行います。

## ■まちなのにぎわいと雇用を支える経済基盤の強化

### 基本目標Ⅲ：安定した雇用を創出するとともに、地域経済を活性化する

デジタルを活用した取組例	
インターネット販売による販路拡大	ECサイトやふるさと納税返礼品の有効活用による新たなビジネスチャンスの創出支援を検討します。
キャッシュレス促進	地域経済活性化を図るため、事業者のキャッシュレス決済導入支援について、引き続き検討します。
外国人市民向けの情報発信・情報伝達	オンライン予約ができる通訳付きの労働相談や「やさしい日本語」を使ったFacebookページの運用等、増加する外国人市民の多様なニーズに対し、きめ細やかな情報発信を含め、多言語の翻訳支援など、デジタル技術を活用した情報伝達支援を引き続き行います。

### 基本目標Ⅳ：多くの人を訪れるまちの魅力を創出する

デジタルを活用した取組例	
観光デジタルコンテンツ	スマートフォン等を活用し、市内の観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーの開催やAR（拡張現実）を用いたガイドコンテンツ、多言語のガイド機能を活用し、観光の利便性、快適性を向上します。
図書館のICT化	蔵書へICタグを取り付けることで、自動貸出・返却等を可能にし、利用者サービス向上や業務効率化を図ります。
SNSを使った情報発信	観光公式Instagramアカウント「とんだばやし_とりつぶ@富田林観光情報」を通じて、主に若い世代や訪日外国人に向けた観光情報の発信を行います。
文化財デジタルアーカイブ	文化財をオンラインで鑑賞できる「おうちdeミュージアム」について、コンテンツの拡充により、さらなる魅力発信を行うとともに、歴史的文化資源のデジタル化による管理手法について検討します。

## ■人口減少・高齢化に対応した時代にあったまちづくり

### 基本目標Ⅴ：時代にあった地域をつくり、安全・安心で健康な暮らしを守る

デジタルを活用した取組例	
介護認定調査のデジタル化	介護認定調査にタブレット端末を活用し事務効率化や調査事務の平準化を図るとともに、入力データを介護保険システムと連携することで審査の迅速化につなげます。
医療・健診・介護データの連携	各種医療・健診・介護データ等を相互に連携させることで、一人ひとりに応じた健康支援を行います。
ドローンの活用	救助現場や災害対応における情報収集に活用します。また、物流、農業、

	観光、建設部門等への活用期待されることから、全庁的にドローン技術の活用を促す取り組みについても検討をすすめます。
新たなモビリティサービスの検討	自動運転等の新たなモビリティサービスの導入可能性について、実証実験などを通じて、関係機関と連携の上、検討を行います。
地域活動のデジタル化の推進	地域活動の効率化や参加しやすい環境づくり、住民同士のコミュニケーションの円滑化を図るため、ICT機器導入費用の一部支援を行います。

## 基本目標Ⅵ：行財政運営の効率化を図る

デジタルを活用した取組例	
市役所のDX	「市DX戦略」に基づき、行かなくてもいい（オンライン）窓口を充実させるとともに、窓口でのキャッシュレス決済、窓口の混雑状況配信、書かない窓口等、デジタルの力を活用して、市民がわかりやすく便利なスマート市役所を実現するとともに、業務効率化・合理化につなげます。また、デジタル技術の利用が難しい人にも寄り添い、誰一人取り残さない行政サービスの提供に努めます。